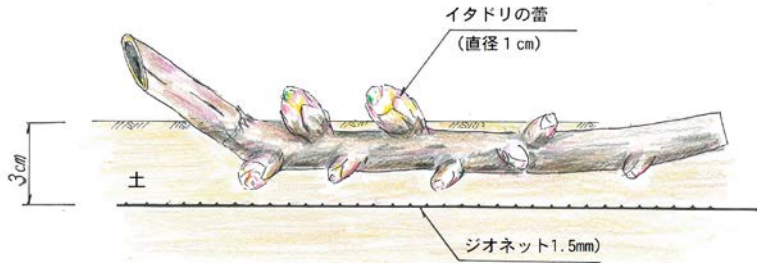


地下茎と貯蔵根を絶縁しても成長できるか？



観察記録・説明等

【2016. 5. 31】

・イタドリがジオネットの上(表土3cm)で成育が可能か、3月18日から秋田河川国道事務所内の花壇で実験をしています。

・堤防で写真①のような元気な地下茎を見つけ、長さ20cm程切断して花壇に植え替えました(②参照)。新芽の蕾が5~6個ほどあり、最も太いのは直径が10mmのものがありません。この地下茎の断片はもとも、地中の深いところにある「貯蔵根」につながっていて、発芽に必要な養分を「貯蔵根」から送り出してもらって大きく発芽しようとしている寸前のものです。ジオネットで「貯蔵根」と地表の蕾間の連絡路を閉じてしまうと成長が抑制されるのではないかと考え実験を開始しました。

・実験前の予想は地下茎の断片から栄養を絞り出して何とか発芽するものの、養分を十分捻出することができないので芽はある一定の高さで成長が著しく遅くなるのではないかと考えました。もし、予想どおりだとすればイタドリの養分の輸送路である「維管束」をジオネットの目合いで狭くすれば、成長を大幅に抑制できるはずでした。

・結果、イタドリは採取元のもの1mを越す草丈になっているものの、この芽は10cm程度で成長を止め枯れ始めています。(④、⑤、⑥参照)

